

地域包括支援センターからのお知らせ

4月から、保健センターの中にある、地域包括支援センターに社会福祉士が新しく配置され、保健師と社会福祉士がそれぞれの専門知識を生かして、お年寄りとそのご家族の相談に応じています。

例えばこんなことはありませんか？

・最近、もの忘れが増えてきた・訪問販売や通信販売で商品を買ってしまって後悔した・自宅での入浴が大変になってきたが、デイサービスやヘルパーを使うにはどうしたら良いか

まずは、お気軽にご相談ください。電話・告知端末（5-1790）や来所、家庭訪問で相談を伺います。

少子高齢化の時代、幌延町においても高齢化社会を迎えています（H28年5月末 高齢化率27.54%）。今後認知症の人が増えてくると予測されており「認知症になっても安心して暮らせるまちづくり」が必要になってきます。認知症になっても地域の見守りや手助けで穏やかに自分らしく生活できるよう、まずは家族や友人など身近な人が変化に気づき「認知症を理解した接し方・関わり方」を心掛けていきたいものです。

地域包括支援センターでは、広報等を活用し認知症についてお知らせしていきます。

今回は「認知症になりやすいといわれるタイプについて」です。

気づいてください! 認知症のサイン

認知症になりやすい性格とは

認知症は誰もがかかる可能性のある病気ですが、性格や考え方などで、かかりやすいタイプの人がいるといわれています。あなたの性格や日頃の行動を振り返りながら、自分が認知症になりやすいタイプなのかどうかを知っておき、できることは改善する努力をしてみましょう。

●認知症になりやすいタイプ

几帳面で、
完璧主義



頑固で、
融通が利かない



新しいことに
取り組むのが苦手



趣味は「仕事」と
答える



表情に乏しく、
あまり笑わない



嫌なことをいつまでも
引きずる



●認知症になりにくいタイプ

おおらかで、
物事にこだわらない



社交的で、
誰とでも打ち解けられる



流行りものには
興味を惹かれる



熱中できる
趣味がある



よく笑い、
喜怒哀楽が表に出やすい



すぐに気持ちを
切り替えられる



相談・問合せ先：地域包括支援センター

電話・告知端末：5-1790